

安倍政治とジェンダー政策 ～徹底検証・女性の人権を問う～

講師： 望月衣塑子さん（東京新聞記者）



日付	2023年1月11日（水） 14:00～16:30
会場	オンライン
参加人数	62人 参加費 無料
担当委員会	憲法委員会

内容報告

【セミナー内容】

2012年以降8年にわたって続いた第二次安倍政権は、安保法制強行をはじめ公然と改憲を主張し、民主主義や人権を軽視、敵視してきた。数々の権力の私物化、ジェンダー問題、旧統一協会問題などすべてが未解明のまま、現政権に引き継がれている。憲法委員会は「安倍なき安倍政治」を許さないために、安倍政治の徹底的検証が不可欠であると考え、このテーマを決定した。

長年にわたって安倍政治の抱える問題を追及し、ジェンダー平等を訴えてきた望月衣塑子さんを講師に迎えて、安倍政治を徹底検証する講演を行った。

望月さんは、憲法上の重大問題だとの危機意識に立ち、2022年末から突然浮上した「安保3文書」問題を有識者会議の提案から閣議決定、政府発表まで、国会を素通りしての安保政策大転換の経過と内容の詳細を提示、これらと不可分に付随する財源の問題、中国、韓国、米国の反応、台湾有事を前提にした日米、仏、英、豪、加などとの共同演習、南西諸島の要塞化と全国で進行する大規模演習、学術会議の改正案の促進と狙い、日英共同戦闘機開発決定、突然の原発増設発表にもふれ、岸田政権がめざすのは米国型の軍産複合体国家であると指摘。

統一協会の教義と安倍政治の政策の類似点と相互利用の具体例として、家庭教育支援条例推進、選択的夫婦別姓や同性婚の否定、家父長的家庭像への固執などをあげた。

安倍政治を引き継いだ現政権によるジェンダー平等の取り組みの弱さや女性への性暴力をはじめとする人権問題の軽視がなお続いていることを指摘。

ジェンダーギャップ指数146カ国中116位の現状を変革するために、メディアの姿勢を含め、多くの女性が発言し、行動することの重要性を呼びかけて、講演をしめくくった。

セミナー終了後に、多くの方から感想が寄せられた。「パワーをもらった」、「まず事実を知ることが大切」、「安保3文書から大軍拡へ、安倍政治とジェンダー政策がしっかり繋がり、9条を骨抜きにしてしまうことがよくわかった」などの感想が寄せられた。